



北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 7月26日（金）14時00分

発表項目 (行事名)	令和元年度「水資源功績者表彰（国土交通大臣表彰）」に係る受賞者の決定について								
記者レクチャー	(実施日時)	発表者							
			発表場所						
概要	<p>◆令和元年度水資源功績者表彰受賞者</p> <table border="1"> <tr> <td>受賞者</td><td>あんざい たもつ 安斎 保</td></tr> <tr> <td>略歴</td><td>昭和32年10月～平成7年6月 下川町役場職員 平成7年6月～平成10年12月 下川町助役 平成11年5月～平成27年4月 下川町長</td></tr> <tr> <td>功績内容</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>氏は、平成11年に下川町長に就任して以来、16年間にわたりサンルダム建設事業の推進に積極的に協力され、流域の治水安全度の向上とともに水資源の開発に貢献された。</li> <li>この間、町民意見を反映した「サンルダム周辺整備計画」の策定に尽力し、ダムの活用を具体化するとともに、流域住民が参加する各種植樹会を主催・後援され、地域の活性化とともに水源林の整備に尽力された。</li> <li>森林の継続的整備、資源の循環、安定的な雇用確保のため、60年サイクルでの持続的な伐採・植林を行う循環型森林経営を推進するとともに、「環境モデル都市」「環境未来都市」「森林総合産業特区」「バイオマス産業都市」等の政府のモデル地域として全国的にも先進的な取組や民間企業との連携、森林認証制度の取得などの取組を展開され、森林資源を活用した水源地域の持続的な地域づくりに尽力された。</li> </ul> </td></tr> </table>			受賞者	あんざい たもつ 安斎 保	略歴	昭和32年10月～平成7年6月 下川町役場職員 平成7年6月～平成10年12月 下川町助役 平成11年5月～平成27年4月 下川町長	功績内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏は、平成11年に下川町長に就任して以来、16年間にわたりサンルダム建設事業の推進に積極的に協力され、流域の治水安全度の向上とともに水資源の開発に貢献された。</li> <li>この間、町民意見を反映した「サンルダム周辺整備計画」の策定に尽力し、ダムの活用を具体化するとともに、流域住民が参加する各種植樹会を主催・後援され、地域の活性化とともに水源林の整備に尽力された。</li> <li>森林の継続的整備、資源の循環、安定的な雇用確保のため、60年サイクルでの持続的な伐採・植林を行う循環型森林経営を推進するとともに、「環境モデル都市」「環境未来都市」「森林総合産業特区」「バイオマス産業都市」等の政府のモデル地域として全国的にも先進的な取組や民間企業との連携、森林認証制度の取得などの取組を展開され、森林資源を活用した水源地域の持続的な地域づくりに尽力された。</li> </ul>
受賞者	あんざい たもつ 安斎 保								
略歴	昭和32年10月～平成7年6月 下川町役場職員 平成7年6月～平成10年12月 下川町助役 平成11年5月～平成27年4月 下川町長								
功績内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏は、平成11年に下川町長に就任して以来、16年間にわたりサンルダム建設事業の推進に積極的に協力され、流域の治水安全度の向上とともに水資源の開発に貢献された。</li> <li>この間、町民意見を反映した「サンルダム周辺整備計画」の策定に尽力し、ダムの活用を具体化するとともに、流域住民が参加する各種植樹会を主催・後援され、地域の活性化とともに水源林の整備に尽力された。</li> <li>森林の継続的整備、資源の循環、安定的な雇用確保のため、60年サイクルでの持続的な伐採・植林を行う循環型森林経営を推進するとともに、「環境モデル都市」「環境未来都市」「森林総合産業特区」「バイオマス産業都市」等の政府のモデル地域として全国的にも先進的な取組や民間企業との連携、森林認証制度の取得などの取組を展開され、森林資源を活用した水源地域の持続的な地域づくりに尽力された。</li> </ul>								
<p>◆水資源功績者表彰状及び副賞の贈呈</p> <p>令和元年8月5日（月）、国土交通省による表彰式が執り行われますが、一身上の都合によりご欠席されるため、表彰状及び副賞の贈呈については、別途調整中です。</p>									
<p>◆水資源功績者表彰</p> <p>永年、水資源の開発、利用及び水源の涵養など水資源行政の推進に関し、組織的かつ伝統的な活動に努め、その功績が特に顕著な団体及び個人に対して国土交通大臣が表彰するもので、昭和54年から実施されています。</p> <p>令和元年度は、安斎氏を含め、全国で3個人、4団体が受賞されます。</p> <p>なお、道関係者では、今回を含め、これまで18個人、6団体が受賞しており、個人での受賞は平成22年度以来です。</p>									
参考	◆令和元年度水資源功績者表彰受賞者と功績概要 … 別紙								
報道担当（取材）お願い									
他のクラブとの関係	同時配付	(場所) ※国土交通省同時発表発表 同時レク	※上川総合振興局記者クラブ同時配付						
担当（連絡先）	総合政策部政策局土地水対策課土地水調整グループ 大島 TEL ダイヤルイン 011-204-5135 (内線23-713)								

【別紙】

令和元年度水資源功績者表彰受彰者と功績概要

[個人]・・・3名

受彰者	功績概要
安斎 保 (北海道)	下川町長として、サンルダム建設事業を推進し、水資源の開発に貢献された。また、ダムの周辺整備計画を策定し、ダム活用について具体化するとともに、流域住民が参加する植樹を主催するなど、地域の活性化と水源林の整備に尽力された。
関 和典 (青森県)	西目屋村長として、津軽ダム建設事業を推進し、水資源の開発に貢献された。また、ダム完成後は水陸両用バスを導入したダムツーリズムを強力に推進するなど、地域振興に尽力されている。
平安 正盛 (鹿児島県)	知名町長として、沖永良部農業水利事業を推進し、地下ダムによる水資源の開発に貢献された。また、知名町地下水保全条例を制定し、沖永良部島において最も重要な水資源である地下水の保全に尽力された。

[団体]・・・4名

受彰者	功績概要
浦和レッドダイヤモンド株式会社 (埼玉県)	埼玉県が実施する上下流交流事業「水源わくわくセミナー」に参画し、上下流域における住民の相互理解の醸成やハッ場ダムに係る普及啓発に大きく貢献している。
安曇野市 (長野県)	地下水や水循環など水資源に関する調査研究を行い、地域住民、事業者と協働して水資源の保全に係る活動を長年にわたり実施している。
岐阜県立恵那農業高等学校 (岐阜県)	阿木川ダムのダム湖の水質浄化を目的とした空芯菜の水耕栽培を実施している。収穫した空心菜は、地域住民による販売のほか、イベント等のPRに活用されており、地域の水質保全意識の向上を図るとともに、水源地域の活性化に寄与している。
佐賀東部土地改良区 (佐賀県)	広範囲にわたるクリーク（農業用排水路）の維持管理を通じて、水資源の有効利用に貢献している。また、土地改良区がクリークの多面的機能維持のための協定を締結した自治会の代表と水源地視察研修を実施するなど、地域と一体となって水資源の保全、有効利用を推進している。